

日露協約成立ニ付本日議長 宮中へ被召別紙ノ
如ク勅語ヲ賜ハリ續テ顧問官東洋間議場ニ参
集シ

聖上臨御ノ上 總理外務兩大臣ヨリ説明報告アリタリ

明治四十三年七月七日

但シ各顧問官ハ外交上重要ナル件ニ付右兩大臣
ヨリ説明アルキ旨前日通知セタリ

編 審 院

水 五

日露協約成立ニ付本日議長 宮中
如ク勅語ヲ賜ハリ續テ顧問官
集シ

外務省

六五

日露協約成立ニ付本日議長 宮中

如ク勅語ヲ賜ハリ續テ顧問官

集シ

聖上臨御ノ上 總理外務兩大臣ヨリ

明治四十三年七月七日

但シ各顧問官ハ外交上重要ナ

ヨリ説明アルヘキ旨前日通知シ

朕日露兩國ノ親交ヲ厚クシ且兩國間ニ
於ケル紛争ノ原因ヲ除去スルノ必要ナルヲ顧
ヒ曩ニ兩國政府ノ間ニ協約ヲ締結セシメタリ
惟フニ東洋ノ平和ヲ鞏固ニシ滿洲ニ於ケル
帝國ノ利權ヲ擁護セムカ爲ニ該協約ノ規
定ヲ擴充シ更ニ露國トノ間ニ滿洲ニ關スル
事項ヲ安定スルヲ緊要トス朕政府ヲシテ此
ノ主旨ヲ以テ露國政府ト交渉ヲ遂ケシメ今
ヤ新ニ協約ノ成立ヲ見ルニ至レリ即チ内閣總理
大臣及外務大臣ヲシテ其ノ詳細ヲ説明セシム

福 密 院